【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】令和6年12月18日(2024.12.18)

【公開番号】特開2024-52815(P2024-52815A)
【公開日】令和6年4月12日(2024.4.12)
【年通号数】公開公報(特許)2024-068
【出願番号】特願2024-24314(P2024-24314)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｆ　2/24(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｆ　2/24

【手続補正書】
【提出日】令和6年12月10日(2024.12.10)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
心臓弁修復インプラントであって、以下：
内側シートを含む閉鎖アセンブリ；
該閉鎖アセンブリから延び、遠位部分において該閉鎖アセンブリを支持するフレームであって、該フレームが、畳み込み状態から拡張状態へと移行するように構成されており、該フレームが畳み込み状態にあるとき、該フレームの近位端が近位方向に突出し、該フレームが拡張状態にあるとき、該フレームの近位端が、心臓弁修復インプラントの中央縦軸から半径方向外側に突出する、フレーム；および
該フレームの近位部分に支持された外側シート
を含み、
該フレームが拡張状態にあるとき、該閉鎖アセンブリが該心臓弁修復インプラントの該中央縦軸に沿って配置され、該中央縦軸を中心に位置する環状開口が該外側シートと該内側シートとの間に画定される、
心臓弁修復インプラント。
【請求項２】
フレームが、内側弓形花弁状部分を含む遠位フレーム部分を含み、閉鎖アセンブリが該内側弓形花弁状部分に支持される、請求項1記載の心臓弁修復インプラント。
【請求項３】
フレームの近位部分が、中央縦軸を中心に周方向に分布した弓形花弁状部分を含む、請求項1記載の心臓弁修復インプラント。
【請求項４】
フレームの近位部分が、中央縦軸を中心に周方向に分布した弓形花弁状部分、および該フレームが拡張状態にあるとき該フレームから遠位方向に突出し、かつ隣接する弓形花弁状部分間の接合部から突出するアンカー部材を含む、請求項3記載の心臓弁修復インプラント。
【請求項５】
フレームが内側弓形花弁状部分を含む遠位フレーム部分を含み、
閉鎖アセンブリが該内側弓形花弁状部分に支持され、
該フレームの近位部分が、中央縦軸を中心に周方向に分布した外側弓形花弁状部分を含み

、
該内側弓形花弁状部分が、該内側弓形花弁状部分と該外側弓形花弁状部分との間に半径方向に延びるスポークによって該外側弓形花弁状部分に結合される、請求項1記載の心臓弁修復インプラント。
【請求項６】
外側シートがフレームの遠位側に配置される、請求項1記載の心臓弁修復インプラント。
【請求項７】
フレームが、拡張状態にあるとき、近位方向に凹型の形状および遠位方向に凹型の形状のうちの少なくとも一つを画定する、請求項1記載の心臓弁修復インプラント。
【請求項８】
フレームが、拡張状態にあるとき、近位方向に凹型の近位部分および遠位方向に凹型の遠位部分を有する、請求項1記載の心臓弁修復インプラント。
【請求項９】
フレームが、拡張状態にあるとき、該フレームの遠位側に配置された近位方向に凹型のキャップ部分をさらに含む、、請求項8記載の心臓弁修復インプラント。
【請求項１０】
フレームが、遠位弓形花弁状部分、近位弓形花弁状部分及び該遠位弓形花弁状部分と該近位弓形花弁状部分との間に延びる縦部材を含む、請求項1記載の心臓弁修復インプラント。
【請求項１１】
各縦部材が、遠位弓形花弁状部分の近位端を近位弓形花弁状部分の遠位端に結合する、請求項10記載の心臓弁修復インプラント。
【請求項１２】
各縦部材が、遠位弓形花弁状部分の近位端を隣接する近位弓形花弁状部分間の接合部に結合する、請求項10記載の心臓弁修復インプラント。
【請求項１３】
フレームが拡張状態へと自ら付勢する、請求項1記載の心臓弁修復インプラント。
【請求項１４】
フレームが形状記憶材料を含み、拡張状態へと自ら付勢する、請求項1記載の心臓弁修復インプラント。
【請求項１５】
内側シートが積層構造を有する、請求項1記載の心臓弁修復インプラント。